

## マツタケの人工栽培を目指した研究

- マツタケの人工栽培を3段階に分けて目指しています（下図）。
- 第1段階の無菌感染苗木作製に成功し、第2段階の林地植栽を始めました。

### 概要

現在長野県のマツタケ生産量は平成18年以降毎年全国一位です。今後ともマツタケが多く採れる長野県を目指し、林業総合センターでは林地での人工栽培に取り組み始めました（図）。

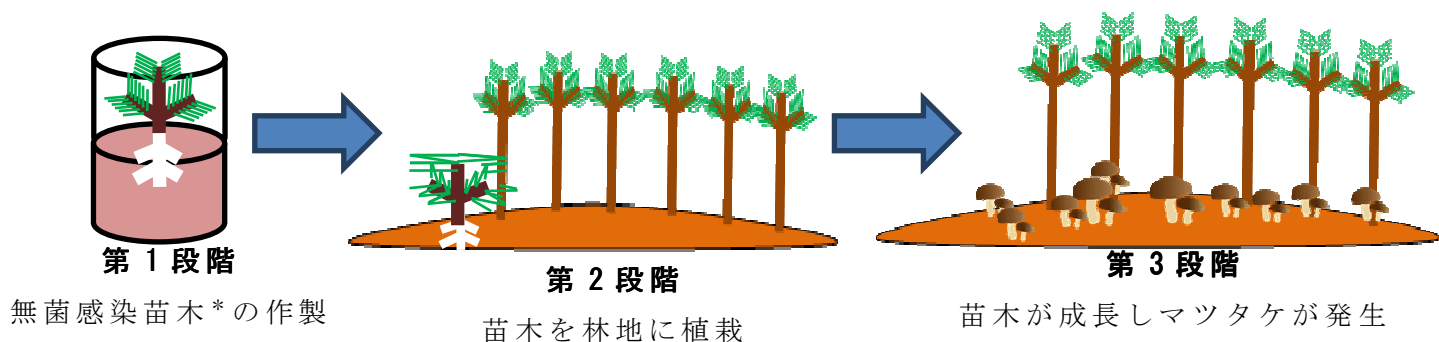


図 マツタケの人工栽培を目指す研究

### 内容

現在、第1段階の無菌感染苗木（写真1）が完成し、第2段階の林地への植栽を始めています（写真2）。



写真1 作製された無菌感染苗木



写真2 林地に植栽された無菌感染苗木

\*無菌感染苗木：無菌環境下でマツタケ菌とアカマツ幼苗を接触させ、シロを形成した苗木。マツタケ菌の生育を促すため無菌環境下で作製する必要がある。

シロ：マツなどがマツタケ菌と栄養交換する場所（菌根）が大きく成長したものを。

担当者 特産部 古川仁